

バリ州、西ヌサトゥンガラ州、東ヌサトゥンガラ州における豪雨、強風、高波等への注意

令和8年3月2日(DPS 総26第10号)

在デンパサール日本国総領事館

- インドネシア気象庁(BMKG)は、南インド洋南西で発生した熱帯低気圧が東に進むためバリ州、西ヌサトゥンガラ州(NTB 州)及び東ヌサトゥンガラ州(NTT 州)各地で3月8日まで豪雨、強風、高波等に警戒を呼びかけています。
- 現在雨期のピークを迎え、上記期間以外でも豪雨、強風、高波等の可能性があります。
- 2月15日にはバリ州ウブドで倒木が発生し、付近の建物や車両に被害が発生した他、各地で豪雨の都度被害が発生しています。昨年12月26日夜にはNTT 州コモド国立公園内の海域で高波により観光船が沈没し4名の外国人乗客が亡くなる事故が発生しています。また、バリにおいてもレンボガン島やヌサペニダ島等に向かうスピードボートの事故が頻繁に発生しています。
- 既に豪雨、強風、高波による低地への浸水により死者を含む被害が発生しています。洪水等の水害、倒木、土砂崩れ、海水浴やサーフィン、船舶でのクルーズ、シュノーケリング、ダイビング等の海での活動には十分な注意をしてください。
- 今後も BMKG(<https://www.bmkg.go.id>)等からの情報収集を行うと共に、安全対策に努めてください。
- 被災時の緊急通報先(各州 BPBD 災害対策庁)は以下のとおりです。

バリ州:0361-251177/245397

NTB 州:0370-646972

(了)